

緊急雇用創出対策で35人を雇用

群馬県緊急雇用創出基金を活用

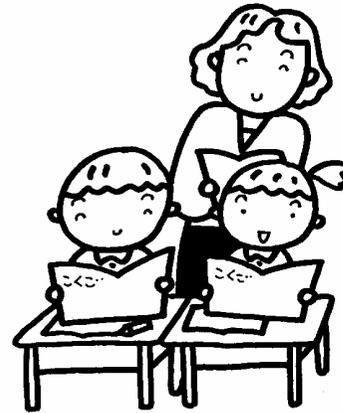


沼田市は前政権が昨年、3年間の時限措置として実施した「緊急雇用創出事業」で創設した「群馬県緊急雇用創出基金」を利用して、新年度に35人の雇用をすることになりました。新政権になって、6ヶ月以内の雇用期間から更新1回可能（1年以内）に伸ばしたことに伴い、35人のうち修景整備作業の5人を除く30人がこの対象となります。基本的には、失業している人が対象となるので、ハローワークで申し込みをして下さい。

全国学力テスト・状況調査は抽出制に

今年度までは全国の小中学校で実施され、学校ごとの競争が激化するのではないかと危惧されていた「全国学力テスト・状況調査」が新政権において抽出制に変更され、沼田市では、小学校2校、中学校4校で実施することになりました。

小学校は6年生で国語と算数を、中学校は3年生で国語と数学をテストするとともに、学習環境や家庭環境などの調査アンケートが行なわれます。いずれにしろ、児童・生徒のプライバシーを民間の会社に委託することや都道府県ごとの順位はついてしまうので、このようなことはキッパリ廃止することです。



市内全域にフロードバンド整備へ4億6千万円

沼田市地域情報通信基盤整備工事を可決

昨年の国の経済対策補正予算で、民間の会社が採算に合わないということで整備が進まない農村地域などに、国の予算でブロードバンド（光ファイバー）を整備する「地域情報通信基盤整備推進交付金」が創設され、市でも昨年7月臨時議会の補正予算で予算計上は議決されていました。今回、国からの交付決定の連絡があったので、入札により事業者が決定していたNTT東日本社との正式契約が提案され、全会一致で可決されました。

市議会議員報酬カットを継続

特別職は継続、一般職員は通常に復活

3月議会の最終日の17日、市議会議員の報酬カットの議案が議員提案され、全会一致で可決されました。これによって月額報酬は、議長は42万6,000円が38万3,000円に、副議長は35万9,000円が33万円に、議員は33万9,000円が32万2,000円に減額されます。

特別職は予算審査の中で条例が提案され、全会一致で可決されました。これによって月額給与は、市長は85万8,000円が71万5,000円に、副市長は69万7,000円が60万6,000円に、振興局長は63万円が56万7,000円に、教育長は63万円が56万7,000円になります。

増税反対統一行動でデモ行進

3・13重税反対全国統一行動利根沼田集会は3月12日、利根沼田文化会館において、利根沼田地区実行委員会の主催で開催されました。

全国的には、41回目を迎え、全国で約600箇所約20万人が参加しました。

集会では、「いまこそ行き過ぎた大企業・大資産家優遇減税を見直し、応能負担の原則に基づく国民本位の民主的税制への転換を要求するアピール」を採択。主催者を代表して永井沼田民商会長があいさつ、来賓では、県労会議、日本共産党の代表があいさつしました。また、日本共産党の大門みきし参議院議員などのメッセージが紹介されました。集会終了後、沼田税務署に向かって市内をデモ行進しました。



沼田市内をデモ行進する参加者のみなさん先頭向かって右端は井之川博幸市議